

NEWS しつもん箱

目が不自由な人を助ける
スマホアプリ

路面のQRコードで誘導

東京メトロ（東京都台東区）とIT系人材派遣会社のプログレス・テクノロジー（同江東区）が、駅の構内を視覚障害者が移動できるようスマートフォンアプリで誘導するナビゲーションシステム「shikAI（しかい）」の実証実験を東京の地下鉄有楽町線辰巳駅で始めました。

？ スマホが誘導するのは

視覚障害者のために危険な場所や進む方向を示す黄色い「点字ブロック」に、スマホのカメラが読み取るQRコードのシールを貼っておくんだ。

曲がる場所や階段の前、トイレや改札など、案内が必要な点字ブロックの場所ごとにシールがあれば、スマホのカメラを下に向けて歩くことで、案内が必要な場所

でQRコードを読み取り、スマホが音声で「改札です。直進〇〇メートル」などと案内してくれる。

視覚障害者は点字ブロック

クで進む方向などは分かるんだが、どれくらい歩いて方向を変えるのかをスマホが教えてくれるので、より安全でスムーズに歩けるんだ。

とても便利だね。

開発した会社によると、このシステムの

すぐれているところは最初にかかる費用が少なくて済むことだ。特殊な機械は必要なく、点字ブロックがあればQRコードを貼り付けて、アプリをダウンロードすれば使えるんだ。

？ いろんな場所ですぐ使えるんだ。

今は実験している辰巳駅の入り口からホームまでだったが、開発が進めば乗りかえをふくめて駅から駅への誘導や、外国語での案内もできそう。

障害者スポーツの祭典、2020年の東京パラリンピックには世界中から視覚障害者もやって来るので、た

のもしい案内役になるかもしれないね。



ナビゲーションシステム「shikAI」の実験に協力する大学生
11月6日、東京都江東区の東京メトロ辰巳駅

問題

- ①「shikAI（しかい）」とは何ですか。
- ②どのように案内しますか。
「点字ブロック」に（ ）を貼る。
↓
それを（ ）で読み取る。
↓
スマホが音声で（ ）
などと案内してくれる。

（小学4年生～総合的な学習、家庭学習など）

10月に行われたアジアパラ大会での日本人選手の活躍は感動的でした。新聞の扱いが少ないのが残念です。

2年後には東京でパラリンピックが開かれます。障害を克服し、活躍するアスリートから、多くのことを学べると思います。

（日本新聞協会NIEアドバイザー・仙台市東六番丁小教頭 阿部謙）

出題者から

11月4日付「かほくワークシート」の模範解答

① 「s h i k A I（しかい）」とは何ですか。

駅の構内を視覚障害者が移動できるようスマホアプリで誘導する
ナビゲーションシステム

② どのように案内しますか。

「点字ブロック」に（QRコード）を貼る。

↓

それを（スマホのカメラ）で読み取る。

↓

スマホが音声で（「改札です。直進〇〇メートル」）と案内してくれる。